



ドリ阿斯

富山県

No.85 2017年10月

中央植物園だより



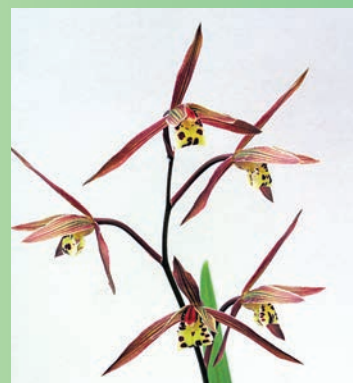
第19回私の植物写真展入選作品「青が映えて」 撮影/本郷喜代則さん

パヴォニア・インテルメディア (アオイ科)

ブラジル原産の常緑低木で、植物園には「ケルメシアナ」という園芸品種を展示しています。青い部分は雄しべ、先端の赤紫色の部分が雌しべです。

第11回秋のラン展

11月17日(金)～19日(日)に第11回秋のラン展を富山県蘭協会との共催で開催します。この時期に開花するカンランを中心に、カトレヤをはじめとする洋ランなど多彩な品種を展示します。今年はダーウィンのランともよばれるアングレカム・セスキペダレの開花映像を公開し、ランと昆虫の共進化をご紹介します。また、18・19日の2日間はランの栽培講習会も行います。



「夜の熱帯植物探検」開催レポート

昨年までの「夜間開園オオオニバス観賞会」にかわり、今年は「夜の熱帯植物探検」を7月28日（金）・29日（土）の2日間開催しました。

通常よりも照明の点灯数を減らした熱帯雨林植物室では、夜に開花したり香りを放つ植物を職員が解説するガイドツアーが行われ、多くの方が参加しました。2日目にはタイミングよく熱帯果樹室のバオバブが4輪開花し、初の一般公開となりました。また、高山・絶滅危惧植物室では大小様々なキャンドルによるライトアップが行われました。

様々な趣向を通して、夜の植物の表情をあらためて観察してもらえたようです。



ガイドツアーの様子



川西哲也氏の協力によるキャンドルライトアップ



今回初公開となったバオバブの花を撮影

第20回「私の植物写真展」入賞作品

7月21日～8月30日に開催された第20回「私の植物写真展」の72点の応募作品から選ばれた園長賞（1点）、ドリアス賞（植物園だより表紙採用分を除く4点）を紹介します。



園長賞・87号表紙「どれにしようかな」久野純子さん

園長賞以外の「植物園だより」表紙採用作品の掲載予定は、以下のとおりです。

86号：「無題」濱田八栄子さん

88号：「紫色の趣」小柴一夫さん

89号：「すじ雲に向かって」松永正昭さん



ドリアス賞「Other side world」
和泉知英子さん



ドリアス賞「春が来た。」
加藤福蔵さん



ドリアス賞「真夏日」谷崎悦夫さん



ドリアス賞「紅孔雀」濱田信介さん

二口善雄画伯の植物画に見る園内の植物

富山県中央植物園には、二口善雄画伯（1900-1997）から寄贈された1900点余りの植物画が収蔵されています。その中から、10月から12月の植物を紹介します。



キク（1965年11月9日制作）
横 40cm × 縦 55cm

11月には県内各地で菊花展が開催されます。中央植物園でも古典菊を中心に入園口周辺で展示します。



ポインセチア（1969年1月1日制作）
横 25.3cm × 縦 34.5cm

クリスマスの植物として鉢植えが定番ですが、熱帯雨林植物室では高さ2mのポインセチアを見ることができます。



クチナシ（1950年7月制作）
横 40cm × 縦 55cm

本来暖温帯の低木で、園内の染めの植物コーナーでは12月には雪囲いの中で黄色い果実を見ることができます。

富山の植物◎『ヤマトキホコリ』 *Elatostema laetevirens* Makino

企画情報課 副主幹研究員 兼本 正

ヤマトキホコリはイラクサ科ウワバミソウ属の多年草で、富山県では山地の湿った谷部に普通に見られます（図1）。雌雄同株で、雄花と雌花が混じった無柄の球形の花序を葉腋につけますが、まれに茎の上部に有柄の雄花序を出すことがあります（図2）。多くの図鑑では開花期が8月～10月とされていますが、これは雄花と雌花が混じっている花序の開花期で、有柄の雄花序の開花期は5月～6月です。

よく似た種類にウワバミソウがあり、2種は茎の基部の色で区別することができます。ウワバミソウは茎の基部が赤く、一方のヤマトキホコリは緑色しており、富山県ではウワバミソウのことを「ヨシナ」、ヤマトキホコリは茎が青いヨシナということで「アオヨシナ」と呼んで山菜として食べられています。ヨシナの方が品質が高いのか、道の駅などでヨシナが販売されていることがありますが、アオヨシナが置かれているのは見たことがありません。

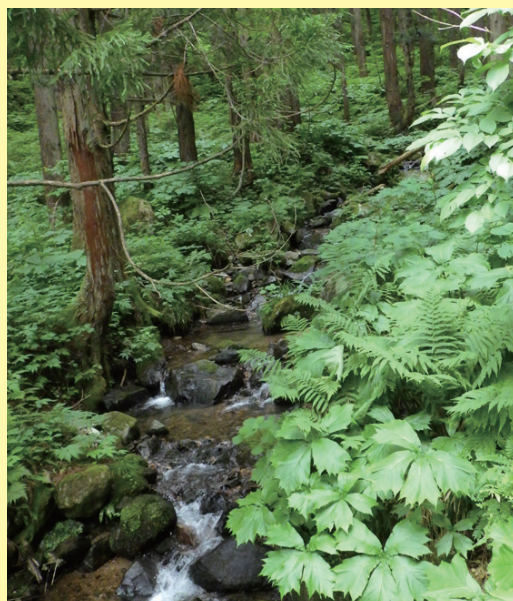


図1. ヤマトキホコリの自生地。沢沿いの腐葉土が堆積した場所で普通にみられる。



図2. まれに見られる有柄の雄花序をつけた個体（2012年5月10日 富山市婦中町外輪野）。

ゲッカビジンが結実

今年7月1日に開催した夜間開園「ゲッカビジン観賞」の際、ゲッカビジンと満月美人(ゲッカビジンとヒメゲッカビジンを人工的に交配してできた品種)が同時に開花したので、互いの花粉を職員が人工的に授粉したところ結実しました。ゲッカビジンは本来自家不和合性(同じ個体の花粉では結実しない)であり、国内のゲッカビジンは同じ個体から挿し木で増殖されたものなので、授粉しても結実しません。その意味ではかなり珍しいものと言えます。8月25日現在ゲッカビジン(写真右上)に3個、満月美人にやや小さめの1個(写真右下)の果実が着きました。

【おわび・訂正】 前号のソウコンニャク開花で紹介したコンニャクの仲間「アモルフォファス・ブルビフェル」は「アモルフォファルス・ブルビフェル」の誤りでした。おわびして訂正します。



ゲッカビジンの果実(上)と満月美人の果実(右)

催し物のご案内

■企画展示 サンライトホール
企画展には入園料が必要です。

サボテン・多肉植物展

10月20日(金)～10月22日(日)

花と緑のコンクール入賞作品展

10月27日(金)～11月15日(水)

秋の盆栽展

11月10日(金)～11月12日(日)

第11回秋のラン展

11月17日(金)～11月19日(日)

クリスマスフェア

12月1日(金)～12月3日(日)

クリスマスの植物

12月4日(月)～12月17日(日)

第5回新春カトレヤ展

1月5日(金)～1月8日(月・祝)

■講座・講習会

ボタニックガーデニングクラブ ◎要申込

「多肉植物で楽しい寄せ植えづくり」

10月21日(土)・22日(日)

13:30～15:30

定員各日とも20名(参加費1,000円)

会場:ドリアスホール
(入園料が必要です)

栽培講習会

「ランの栽培と管理」

11月18日(土)・19日(日)

両日とも13:30～15:00

会場:ドリアスホール
(入園料が必要です)

植物園でバードウォッチング

12月10日(土)

9:00～11:30

入園料が必要です。

ボタニックガーデニングクラブ

「クリスマスリースづくり」

12月2日(土)・3日(日)

午前の部10:00～11:00

(参加費500円)

午後の部13:00～14:00

(参加費500円)

定員各会50名

*当日受付、定員に達し次第締め切ります。

会場:ドリアスホール
(入園料が必要です)

■月例行事

月例行事には入園料が必要です。

植物ガイド

ーボランティアと歩く植物園ー

第1,2,4日曜日 13:30～14:00

ー園長と歩く植物園ー

第3日曜日 13:30～14:00

集合場所/サンライトホール

緑のコンサート

11月4日(土)

14:00～15:00

◎要申込

事前の申込が必要です。申込は1ヶ月前から前日までに「電話」でお申込ください。



富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9:00～17:00 (入園は16:30まで)
(11月～1月は9:00～16:30、入園は16:00まで)
休園日 毎週木曜日
(4月第1、2木曜日とGW、お盆、祝日の場合は開園)
年末年始(12月28日～1月4日)

入園料	大人(一般および大学生)	500円
	団体料金(20名以上)	400円
	高校生以下ならびに70歳以上通年無料	
冬期入園料(12月～2月)	大人(一般および大学生)	300円
	団体料金(20名以上)	240円
	高校生以下ならびに70歳以上通年無料	
年間パスポート(購入日より1年間有効)		2,000円

交通案内 JR富山駅から、富山地鉄バス「ファボーレ經由萩の島循環」または「ファボーレ經由速星行き(休日のみ)」に乗り、「中央植物園口」停留所下車、徒歩約12分/富山市中心部より車で約15分/北陸自動車道富山インターより車で約15分/JR速星駅より車で約8分

富山県中央植物園だより No.85

編集・発行/富山県中央植物園(指定管理者:公益財団法人 花と緑の銀行)
〒939-2713 富山市婦中町上轡田42 TEL 076-466-4187 <http://www.bgtym.org/>
平成29年9月20日発行 印刷/中村印刷工業株式会社